

第8次安城市総合計画（後期計画）

「ケンサチ2.0」がスタートします！

ケンサチ

つながる。安城
かなえる。
健幸のまち、

本市では、平成28年に基本理念を「市民一人ひとりが生活の豊かさとともに幸せを実感できるまち」とする8年計画の第8次安城市総合計画を策定しました。この計画に基づくまちづくりをスタートしてから4年が経過し、その間、本市を取り巻く様々な社会情勢は変化してきています。これらの変化や新たな課題に対応するため、計画の中間見直しを行い、新たに後期計画「ケンサチ2.0」としてまちづくりをスタートします。なお、基本理念と目指す都市像は、前期計画から継続します。

目指す都市像 **幸せつながる健幸都市 安城**

ケンサチはSDGs

私たちは、市民がみんなつながり、健やかと幸せが実感できるケンサチなまちの実現を目指しています。これを実現させることは、SDGsに設定された2030年までに達成すべき17のゴールを目指すことにもつながるものと考えています。

① 持続可能な開発目標（SDGs）の目標達成を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ 持続可能な開発目標（SDGs）とは ■

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年の国連サミットで採択された、2030年までの国際目標のことです。

持続可能な世界を実現するための17の目標と、169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。

■ 総合計画ケンサチ2.0とSDGs ■

SDGsは、健康や福祉、教育、環境、経済等、17の目標をパートナーシップで達成することとしています。個別の目標は本市がこれまで行ってきた活動そのものであり、これらをパートナーシップにより達成を目指すといった理念は、ケンサチ2.0の目指す姿と重なります。

②重点戦略「健幸都市推進プロジェクト」を、公民連携により進めます。

ケンサチ2.0では、「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」を3つの柱とし、公民連携(※)を活用しながら取り組むことで「幸せつながる健幸都市 安城」の実現を目指します。

1ひとづくり

～健康で幸せに暮らし続ける～



すべてのライフステージとその変化に応じた適切な環境づくりを支援することにより、誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会の実現を推進し、市民が健康で幸せに暮らし続けることのできる社会の形成を目指します。

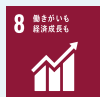
施策の基本的方向

- 1 生涯にわたり健康で幸せに暮らし続ける環境づくり
- 2 安心して子どもを生み育てられる環境づくり
- 3 次世代を担う子どもの教育環境づくり
- 4 社会の担い手となるひとを増やす環境づくり



2しごとづくり

～新しい時代の流れを力にし、安定した雇用を維持する～



農業・商業・工業のバランスのとれた産業基盤を維持しつつ、これらの産業で新技術の導入を促すような支援や創業支援を通じ、イノベーションを促進することにより、本市の安定した雇用の維持を目指します。

施策の基本的方向

- 1 ものづくり産業を中心とする地域の産業の振興
- 2 新規産業の創出
- 3 農業の育成・振興
- 4 観光と連携した商業の振興



3まちづくり

～みんなでつくる住みたい、住みつづけたいまち～



まちづくりを市民とともに行うことで、市民のニーズにあった住みやすいまちづくりを進めるとともに、市民のまちに対する愛着や誇りを醸成し、市民にとって住みつづけたいまちとなることを目指します。

施策の基本的方向

- 1 市民とともにつくる持続可能なまち
- 2 良好な住宅地の供給
- 3 まちへの愛着・誇りの醸成と豊かで暮らしやすい生活の実現



(※)「公民連携」とは

企業をはじめとする民間と行政が連携して、様々な公共サービスの提供を行う取り組みです。例えば、民間事業者が持つ資金とノウハウを積極的に導入し、施設整備や公共的空間の利活用を図ること等が考えられます。